

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC） <input checked="" type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業		
自治体(団体)事業名	長崎県市長会 主管課長会議		
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名
	長崎県市長会		星原 真樹
事業期間	開始年	平成24年7月12日（4年目）	
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]		
実施期間	(開始日)	27年10月21日	(完了日) 27年10月21日
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名
	(委託内容)		
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)		目標・目的
	13市		行政運営の効率化及び地域の活性化を図る。
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	平成27年度第2回主管課長会議（平成27年10月21日開催） 1 審議事項（負担金等適正化委員会の事前審査） 各種協議会等に係る各市負担金 (1) 長崎県障害者スポーツ協会事業推進に関する負担金 (2) 長崎デスティネーションキャンペーン推進協議会負担金 2 報告事項 (1) その他の団体負担金等について ・長崎県移住促進センター（仮称） ・長崎県離島振興協議会負担金 ・長崎県果樹集団産地市町協議会負担金 ・長崎県肢体不自由児者父母の会連合会負担金 3 その他		
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)		
	長崎県市長会議、長崎県副市長会議は年に2回ずつ開催されているが、事前に審議事項等の調査・研究を行う会議体として各市の総務課長、財政課長で構成される主管課長会議が発足した。		
	(経緯・現状)		
	主管課長会議は、年に3回開催されているが、各市の中核を担う主管課長が一堂に集まり、様々な角度から調査・研究を行っており、その結果を市長会、副市長会に提言している。		

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		688,530	309,770	381,090				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	218,202	99,282	125,976				
	市町振興共同事業助成金	470,328	210,488	255,114				
	一般財源							
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	参加市	県内の課長が共通のテーマを調査・研究することで共通の認識を持つことができ、その後も情報交換を行うことができる。	市	目標	13	13	13
					実績	13	12	13
				目標達成率（％）	100	92	100	
	②	総合計画等への反映	各市の総合計画や各種施策等に反映させることで、よりスピード感を持って施策を推進することができる。	市	目標	13	13	13
					実績	13	12	13
				目標達成率（％）	100	92	100	

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>県内各市の中核を担う主管課長が一堂に会し、共通のテーマについて調査・研究することにより、共通の認識を持つことができるとともに情報を共有することができる。また、会議の終了後も様々な意見交換を行うことができるので、より効果的に各市の施策等に反映することができる。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	全市が参加し、活発な意見交換を行い、副市長会議に提出する議案等の整理ができた。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	県内各市の中核を担う主管課長が一堂に会し、共通のテーマについて調査・研究することにより、その調査・研究内容を十分に成果として各市の事業へ反映できる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	県内各市の中核を担う主管課長が一堂に会し、共通のテーマについて調査・研究し、その調査・研究内容を十分に成果として各市の事業へ反映でき、また、事業の成果向上により、住民へ利益を還元できる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	<p>県内各市の中核を担う主管課長が一堂に会し、共通のテーマについて調査・研究することにより、共通の認識を持つことができるとともに情報を共有することができる。また、会議の終了後も様々な意見交換を行うことができるので、より効果的に各市の施策等に反映することができる。</p> <p>本調査・研究事業は、その必要性、有効性、実現性の観点からも非常に効果が高く、今後とも継続すべき事業である。</p>				